

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 3 月 12 日作成)

小委員会名	パイルキャップ構造設計法検討小委員会	主 査 名：塩原 等 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：中島正愛 主 査 名：壁谷澤寿海
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鉄筋コンクリート基礎構造の耐震設計法を「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計指針・同解説」の形でまとめることを目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年度：既往文献の収集及び検討 ・ 2008 年度：課題の抽出と検討 ・ 2009 年度：基礎構造部材における応力伝達機構と設計法の検討 ・ 2010 年度：基礎構造部材の構造設計法の提案・最終報告書の作成 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：若干名</p> <p>塩原等 (東京大学)、飯塚正義 (プレハブ建築協会)、小室努 (大成建設)、井川望 (鴻池組)、和泉信之 (千葉大学)、井上芳生 (UR リンケージ)、(梅村美孝 (安藤建設)、中西啓二 (清水建設)、小林勝己 (フジタ)、小林恒一 (独立行政法人原子力安全基盤機構)、高野公寿 (JFE テクノリサーチ)、平出務 (独立行政法人建築研究所)、宮田章 (鹿島建設)、米澤健次 (大林組)、鈴木康嗣 (鹿島建設)、</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>パイルキャップ性能評価 WG：応答値と限界値の比較による基礎構造の耐震性能の判定方法を検討する。</p> <p>パイルキャップ保証設計 WG：基礎構造の保証設計法を検討する。</p>	
2009 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：有 http://seismic.t.u-tokyo.ac.jp/users/RC2008-002/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	2007 年度に作成した、最終報告書の「鉄筋コンクリート基礎構造部材の耐震設計指針・同解説」の本文・解説の原案作成を行った。進捗状況は予定どおりである。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 基礎構造運営委員会との調整